

試験問題番号 57

活性炭が有効な薬物の条件で間違いはどれか。

- 1 分布容量が小さい。
- 2 蛋白結合率が低い。
- 3 脂溶性
- 4 非イオン化物
- 5 服用から長時間経過

試験問題番号 58

一酸化炭素(CO)中毒に関する文章で正しいのはどれか。

- a 死亡例では自動車の排気ガスによる中毒が増えている。
- b ヘモグロ빈はCOよりも酸素に対する親和性が高い。
- c CT検査では小脳の低吸収域像が特徴的所見である。
- d いったん回復した後、再び昏睡にまでいたる間欠型一酸化炭素中毒がある。
- e 治療法として純酸素投与や高気圧酸素療法がある。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

○試験問題番号 59

以下の文章で間違いはどれか。

- a 尿量増加により尿中の薬物濃度希釈がおきて遠位尿細管での再吸収が抑えられ薬物が除去されるのが強制利尿の原理である。
- b イオン化した物質は遠位尿細管で再吸収されないので尿を酸性やアルカリ性にして(非イオン化して)薬物除去の効率を上げる。
- c イオン化率の高い薬物は強制利尿が有効である
- d 強制利尿では輸液負荷せず利尿剤を使用する
- e 強制利尿には5%ブドウ糖液が頻用される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

試験問題番号 60

薬物と拮抗薬の関係で間違いはどれか。

- 1 青酸化合物……亜硝酸
- 2 ベンゾジアゼピン…フルマゼニル
- 3 アセトアミノフェン…Nアセチルシステイン
- 4 クマリン系殺鼠薬…ビタミンD
- 5 有機リン……PAM

試験問題番号 61

パラコート中毒について間違っているのはどれか。

- 1 予後の良い中毒である。
- 2 分布容量は高い。
- 3 肺に集積する傾向がある。
- 4 肝障害や腎障害も数日して発症する。
- 5 口腔内の青緑色の着色、口腔内びらんは診断に役立つ。

試験問題番号 62

熱中症に関する文章で間違いはどれか

- 1 熱射病では体温が40℃以上になる。
- 2 意識障害がみられたら救命センターへの搬送が望ましい。
- 3 熱射病は多臓器不全やDICへ伸展すると予後が悪くなる。
- 4 なるべく早く38℃まで冷却することが大事である。
- 5 重症症例でも肝不全はまれである。

試験問題番号 63

日射病についての記載で誤っているのはどれか。

- 1 日光に暴露することで発症する熱中症を日射病と呼ぶ。
- 2 日光照射を頭部や頸部にうけて体温中枢が失調する。
- 3 発汗がみられ、頭痛や全身倦怠感などの症状がでる。
- 4 体温は40℃以上に上昇する。
- 5 涼しい場所で臥床、安静にして、水分と塩分を補給する。

○試験問題番号 64

熱中症に関する文章で間違いはどれか。

- 1 熱射病は高温多湿の環境下での労働を行った際に発症しやすい。
- 2 熱射病では意識障害がみられる。
- 3 熱射病は多臓器不全に陥りやすい。
- 4 体温は40℃以上になる。
- 5 横紋筋融解症が起きることはまれである。